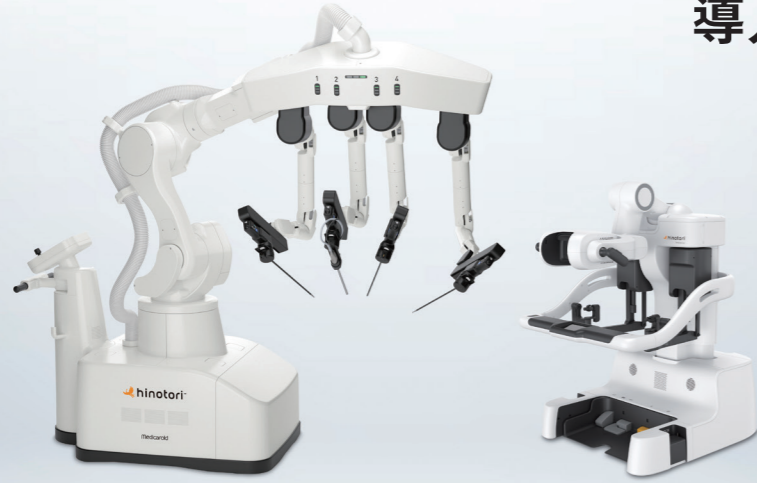


手術支援ロボット



hinotori™

導入



©Tezuka Productions

念願であったロボット支援手術を開始します。日本初の国産ロボット「hinotori」で、360度回転可能な多関節鉗子、拡大視機能を持つ3Dカメラ、手ぶれ制御機能等が特徴です。当初は4月から常勤医師が二人着任する泌尿器科が中心ですが、夏頃までには消化器外科にも拡大する予定で、消化器外科と泌尿器科が一体となって、腹部外科としての新たなスタートです。これまで以上に緻密で、患者さんに優しい手術を目指しています。

KKR 広島記念病院 地域連携情報誌



まねん



紹介

泌尿器科 新任医師

しげ まつ よし のり
重松 慶紀 医長

専門分野

泌尿器科一般

取得資格

医学博士
日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医
臨床研修指導医
hinotori (tm) cockpit surgeon 認定

の むら なお ふみ
野村 直史 医師

専門分野

泌尿器科一般

取得資格

日本泌尿器学会専門医



国家公務員共済組合連合会

広島記念病院

〒730-0802
広島市中区本川町一丁目4番3号

代表電話：082-292-1271
受付時間：月～金曜日（祝日除く）
8:30～17:00

地域医療連携室

T E L : 082-503-0730
F A X : 082-503-1010

ホームページは

こちらから



地域包括ケア病棟特集

～在宅復帰を支える当院のチーム医療～

2024年
renewal
vol.03

どのような病棟?

地域包括ケア病棟は、急性期治療を終え病状が安定した患者さんに対し、在宅や介護施設等への復帰に向けた医療や生活支援を行うことを目的とした51床の病棟です。

適切な治療や生活環境を調整し療養サポートを行うために、医師・薬剤師・看護師・管理栄養士・作業療法士・理学療法士・言語療法士・歯科衛生士・MSWなどの多職種が連携し、チーム医療を提供しています。患者さんの食事摂取や嚥下機能の問題に対して、NSTチームが摂食機能療法などの適切な指導を行い、機能回復や改善を支援しています。またリハビリテーション(以下リハ)においては生活リハだけでなく、廃用症候群リハ、運動器リハ、脳血管疾患リハ、がん患者リハ、呼吸器リハを行い、患者さんの日常生活への復帰を促進しています。



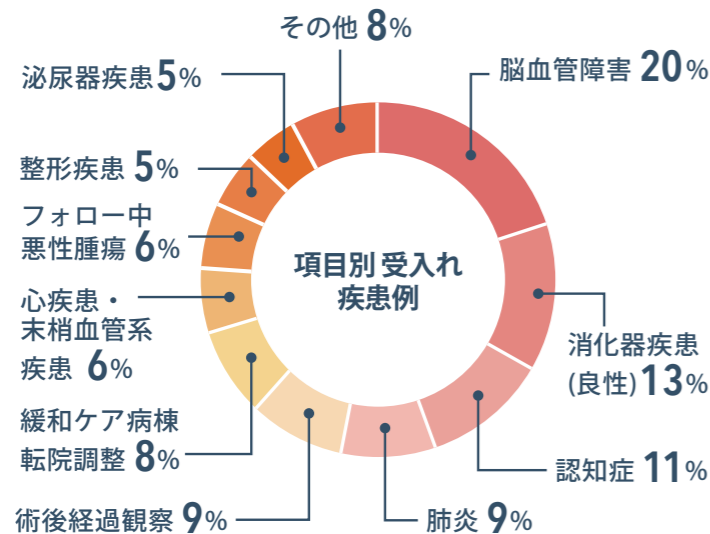
退院カンファレンス

入院目的ベスト3

- 1 リハビリテーション 平均在院日数 **44日**
- 2 レスパイト 平均在院日数 **23日**
- 3 治療後の経過観察 平均在院日数 **23日**

地域包括ケア病棟の受入れ疾患例 (2023年度)

※下記以外の疾患も対応しておりますので、都度ご相談ください



心疾患・末梢血管系疾患

- 慢性心不全
- 高血圧症
- 陈旧性心筋梗塞

フォロー中悪性腫瘍

- 遠位胆管癌
- 乳癌術後再発
- 大腸癌術後

整形疾患

- 大腿骨転子部骨折
- 変形性膝関節症
- 腰痛症

泌尿器疾患

- 尿路感染症
- 腎癌
- 閉塞性腎盂腎炎

その他

- アフターコロナ
- 2型糖尿病
- 下肢蜂窩織炎

脳血管障害

- 脳梗塞後遺症
- パーキンソン症候群
- 脳出血後遺症

認知症

- 認知症
- レビー小体型認知症
- アルツハイマー型認知症

術後経過観察

- 大腸癌術後
- 胃癌術後
- その他術後

消化器疾患

- 便秘症
- 潰瘍性大腸炎
- 大腸憩室症

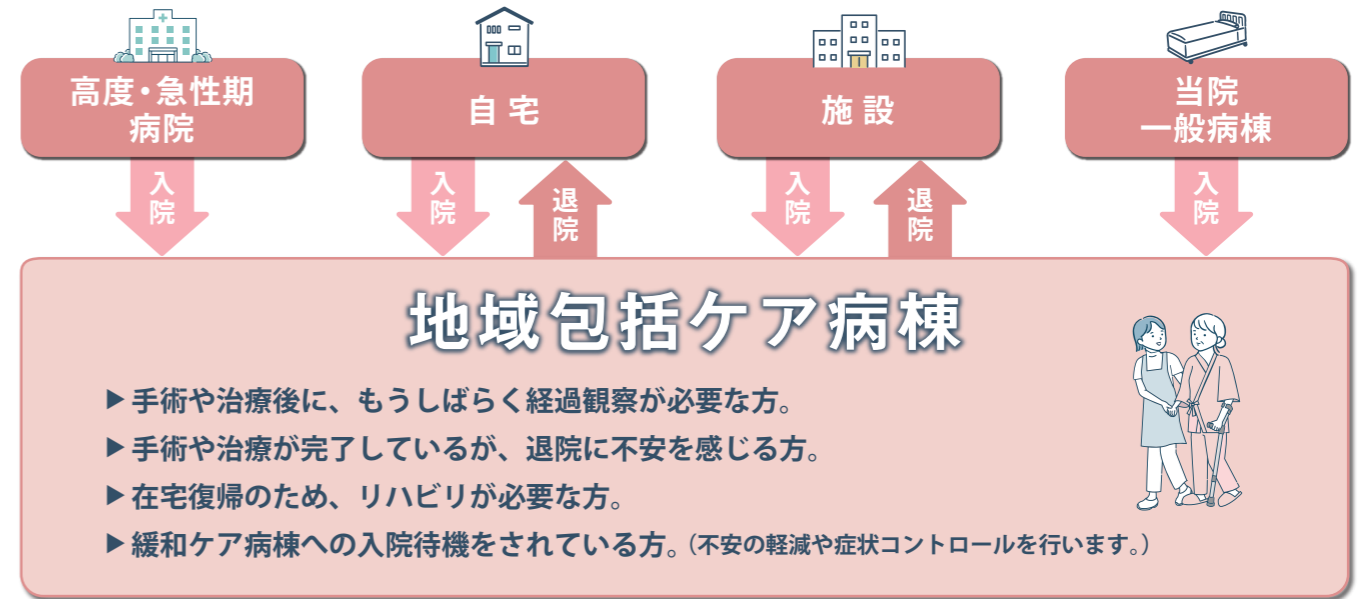
肺炎

- 誤嚥性肺炎
- 間質性肺炎
- 気管支肺炎

緩和ケア病棟転院調整

- 肺癌
- 転移性脳腫瘍
- 直腸癌

急性期を終えた患者さんの入院をもう少し継続できます



レスパイト入院も対応可能です!!

在宅介護を続けられない期間を当院がサポートします

※大型連休、年末年始にも対応します。こんなお悩みの方は是非ご相談ください



入院相談について

- 1 地域連携室へお電話にてご相談ください。
TEL:082-503-0730
ご相談時間：平日 8:30 ~ 17:00
- 2 「FAX予約受付用紙」+「診療情報提供書」をFAXにて地域連携室へ送ってください。
FAX:082-503-1010
- 3 担当医師に確認後、地域連携室より折り返しお返事いたします。

※直接入院も可能です。お電話でのご相談時に直接、担当医師にお繋ぎいたします。
※予約から翌日の入院も可能です。前日の17時までに地域連携室へお電話を頂ければ、担当医師に確認いたします。

Q&A

Q 入院期間は?

A **最大60日以内**です。

Q どのような検査が可能?

A **必要時及び退院前の血液検査・レントゲン検査なども可能です。**

Q どのような治療が可能?

A **投薬治療に関しては入院前と同様の治療継続ができます。軽症の尿路感染や肺炎などは抗生剤など点滴治療もできます。**

※重症化した場合は急性期病棟での治療も可能です。